



教師がボールの動きを調整しやすいよう、ボールをネットに入れ、ひもで棒にくくりつける。

児童が興味をもつよう、ボールにキャラクターの絵を貼ったり鈴をつけて音が鳴るようにしたりする。

#### ◇指導のねらい

教師がボールの動きを調整することにより、児童がボールを注視したりボールを自分で追いかけて蹴ったりする力の向上をめざす。

#### ◇基本の使い方

教師は児童の前方に立ち、児童が蹴りやすいようにボールの位置を調整しながら一緒に進んでいく。児童がボールについているひもを手で持ちたがることがあるので前方からボールをさしだすのがよい。

#### ◇指導の評価

ボールに対してなかなか興味をもちにくい児童において有効であった。ボールの動きを児童にあわせて蹴りやすい位置に調整することができるので、児童はよく見て蹴ったり自分から追いかけて蹴ったりするようになった。また、ボールに意識が向くようになったことで、ひもがついていないボールでも自分で追いかけながら蹴り進めることができるようになった児童もいた。